

平成20年12月第4回幸田町議会定例会 報告

議会報告 12月定例会

平成20年12月定例会は、12月4日に召集され24日まで開催されました。単行5件、補正予算関連3件、計8件が上程され原案通り可決されました。陳情2件・請願2件を処理。(下記に、主な議案を抜粋し記載します。)一般質問には、8名の議員が町政をただしました。

●幸田町国民健康保険条例の一部改正について

●出産育児一時金の支給を35万円から38万円に改定(平成21年1月1日から施行)。

●幸田町災害見舞金等支給条例の一部改正について

●災害見舞金等の額の見直し(平成20年8月末豪雨の8月29日～適用)。

災害見舞金等の額の改正

区分	改定後	改定前
死亡	1人 20万円	10万円
負傷入院	1人 5万円以内	4万円以内
住宅家財の全壊・全焼	1世帯 10万円以内	6万円以内
住宅家財の半壊・半焼	1世帯 5万円以内	3万円以内
住宅の床上浸水等	1世帯 3万円以内	1万円以内

●工事協定の締結について

●JR新駅にかかる自由通路設置に関する工事のJR側との協定について。

●平成20年度幸田町一般会計補正予算

●平成20年度幸田町一般会計歳入歳出における、補正について。

「さこう弘康」の一般質問

登壇：H20年12月8日 13:00～

Q1: 暮らしに安全・安心を!

今年に入り県内の犯罪は、増加に転じているが、本町の犯罪発生状況は。

今後の犯罪発生予想と、その取り組み施策は。

家庭の火災警報機の設置率は。

火災警報機の販売斡旋や、補助金制度の考えは。

防災受信機の設置率と 防災受信機の設置待ちの戸数、その対応は。

街頭消火器の設置の考えは。

【幸田町】再興・足立
之(新政) 黒柳公治(無
所属) 伊藤宗次(共産) 酒
向弘康(無所属) 丸山千代
子(共産) 池田久男(新政
之の6氏が一般質問。

A1: 行政と地域で施策を推進する。

本町では、車両にかかわる犯罪が多発傾向。11.5件/1000人当り・58位/県内76市区町村
ゴミのポイ捨てなど小さいところから対策する。
H20年度は、家庭：29.9%である。
高齢者の1人暮らしの方・災害弱者といわれる方
たちの家にも、取り付けの啓発、援助をしていく。
町全体の世帯数の56.7%。現在設置待ちは、76件
補正予算が通れば、年度内に設置予定。
地域の要請があれば、協働で設置を進める。

Q2: 放課後児童の居場所づくりの充実を!

モデルスタートした荻谷小学校の「放課後子ども教室」の評価と課題は。

未開設の学区の保護者の要望として、「長期連休中の開設を」の声があるが、考えは。

新学期「放課後子ども教室」でも「児童クラブ」でもみてもらえない新3年生がいた、再発防止は。

「児童クラブ」の閉所時刻の延長に対する考えは。

「児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体化の考えは。

A2: 放課後事業の一本化に努力する。

通年33名・長期連休12名で自由遊び・学習実施。
・同じ学校の児童が2箇所へ区別される矛盾、疑問。
・特別支援対象児童の受け入れ判断基準の明確化。
・施設・スタッフ人材の確保等が、課題となった。
すぐには難しいが、今後の開設をお待ちください。
早期の開設に努めるが、発生時は理解をいただく。
全町での実施となると、慎重に考えていきたい。
補助金の関係もあるが、一本化に向け努力する。

幸田町長に中地協の政策要望書を提出しました。(11/17)



近藤町長に要望書を渡す笠原代表

<要望書の内容(項目の6つの要点のみ記載)>

広く勤労者、町民全体の生活向上と地域の発展に向け、「こころ豊かで、活力ある地域社会づくり」を目指して下記の重点要望を取りまとめ提出しました。

中地協から、幸田町への提出は初めての事です。

1. 安全で安心して暮らすことのできるまちづくり
2. 雇用の安定と創出
3. 環境政策の推進
4. 福祉・社会保障制度施策
5. 行財政改革
6. 道路網の整備

以上を提出し、その後懇談会を実施しました。

トピックス

町内交通事故が多発！ 「交通死亡事故抑止緊急アピール」

幸田町は、10月31日に、町民に対し「交通死亡事故 抑止緊急アピール」をしました。9月30日深溝地内で事故が、発生し交通死亡事故ゼロが、659日間で途切れしました。さらに10月26日、歩行者の死亡事故、10月27日、29日とオートバイが、関係する重体事故が発生しました。交通事故を防止するため『私たちは交通ルールとマナーを守り、安全行動に徹します。』と呼びかけています。事故にあわない様お互いに交通ルールを守りましょう。



全国障害者技能競技大会銅賞の 小桑さん幸田町長へ受賞報告

10月24日～26日千葉県の幕張メッセで技能五輪全国大会と全国障害者技能競技大会が開催されました。デンソー幸田から愛知県を代表して「電子機器組立」の部に出場し「銅賞」を受賞された小桑舞さんが、幸田役場を訪れ幸田町長に報告しました。大会は、上位数名が僅差で争う非常にレベルの高い大会でしたが、日ごろの精進がみのり見事受賞されました。本当に「おめでとうございます！」



小桑さんと町長



課題を見られる町長

幸田町もレジ袋の有料化を予定しています。

本町も、レジ袋削減の取り組みを実効性あるものにするため、周辺の自治体とも歩調を合わせ、参加協力を得られた町内店舗において、平成21年4月1日からレジ袋の有料化を予定しています。1枚当たり5円程度の有料となる見通しです。

レジ袋は、日本国内でおよそ300億枚(1人1日約1枚)使用されています。近隣の状況は、豊田市と安城市がすでに実施しており、岡崎市・西尾市・蒲郡市・刈谷市・幡豆郡3町が、平成21年4月までに実施の準備中です。



PR

さこう弘康のホームページを見に来てください。「ご意見ご要望も受け付けています」

さこう弘康

検索

<http://www.hiro-sakou.com/index.html>